

## 農林水産業競争力アップ技術開発(平成30年度終了課題) 「研究成果集」

農林水産関係試験研究機関では、農林水産業競争力アップ技術開発事業において、生産者の所得向上につながる技術開発に取り組んできました。このたび、平成30年度に終了した14課題の研究成果について、「研究成果集」として取りまとめましたのでお知らせします。なお、個別課題の詳細な内容については各試験場・研究所にお問い合わせ下さい。

	研究テーマ (実施試験場名)	研究の成果
1	 水田転換畑を利用した 種ショウガ生産技術の開発 (農業試験場 tel. 0736-64-2300)	水田転換畑において優良な種ショウガを安定生産するため、有機質マルチによる雑草抑制技術、緩効性肥料を用いた施肥技術、ショウガ根茎腐敗病の効果的な防除法を確立した。
2	 'まりひめ'高設栽培における 炭酸ガス施用効果と培地量削減による低コスト化 (農業試験場 tel. 0736-64-2300)	イチゴの省力生産が可能な高設栽培の生産性を向上するため、炭酸ガス施用により収量を増加させる技術を確立した。また、培地量の削減することで、ベンチ資材などの経費を10a当たり14%削減できることを明らかにした。
3	 計画出荷を目指したスプレー ギク、ストックの開花調節技 術の開発 (農業試験場 tel. 0736-64-2300)	夏季に高品質なスプレーギクを生産するため、開花時期を遅らせずに切り花長を確保するための日長管理技術を確立した。また、冬春季出荷のストックにおいて、開花時期の安定と切り花品質の向上を図る電照処理法とトンネル高温処理法を確立した。
4	 低コスト環境制御による ミニトマトの高品質多収生産 技術の開発 (暖地園芸センターtel. 0738-23-4005)	高糖度ミニトマトの収益向上のため、炭酸ガス施用を中心とした環境制御技術の開発に取り組み、収量を6~10%向上する技術を確立した。また、炭酸ガス施用と飽差管理を併用することで15%の増収が見込めることを明らかにした。
5	 スターチスの新品種育成 (暖地園芸センターtel. 0738-23-4005)	スターチスの低夜温管理における収量の減少を改善するため、収量性の高い品種の育成に取り組み、ブルー系品種「13B11」、「15B1」の2品種を育成した。
6	 エンドウの新品種育成 (暖地園芸センターtel. 0738-23-4005)	本県の主要な実エンドウ品種である'きしゅうすい'は草丈が高く、ハウス栽培において作業性が悪いことから、草丈の低い品種育成に取り組み、主枝長、節間長が従来品種の約75%となる'みなべ短節間1号'を育成した。
7	 カンキツ新品種の育成 (果樹試験場 tel. 0737-52-4320)	すでに普及中の極早生ミカン'YN26'と比較してさらに着色が早く食味のよい'YN65'、浮皮がほとんど発生しない超晩生ミカン'25-2'を育成した。また、食味の良い中晩柑品種'はるき'の品種登録出願、浮き皮の少ない晩生ミカン'植美'の登録出願の支援を行った。
8	 かきオリジナル品種の育成 (かき・もも研究所 tel. 0736-73-2274)	10月中旬以降に収穫が可能で、350g以上の大果で着色がよく、糖度が17%以上と高品質な甘ガキ新品種'紀州てまり'を育成した。また、剪定時に30cm以上の結果母枝を残すことで、安定して着果数を確保できることを明らかにした。

9		<p>モモ「川中島白桃」等の果肉障害対策技術開発 (かき・もも研究所 tel. 0736-73-2274)</p>	<p>本県の主要モモ品種「川中島白桃」の果肉障害(みつ症)を軽減するため、結果枝の基部に着果させること、着果量を慣行の1.3倍量とすること、開花後40日から収穫時まで株元に透湿性マルチを敷設することが有効なことを明らかにした。</p>
10		<p>赤身が旨い黒毛和牛の生産技術開発 (畜産試験場 tel. 0739-55-2430)</p>	<p>多様化する消費者嗜好に応えるため、配合飼料の一部をエコフィードに代替することで脂肪交雑を抑えた黒毛和牛肉の生産技術を確立した。さらにエコフィードの粗タンパク質等の組成・成分を改良して肥育期間を約80日短縮し、通常肥育牛と同程度とすることに成功した。</p>
11		<p>霜降り豚肉&amp;イノブタ肉生産のためのエコフィード素材特性の解明と効率的生産技術の開発 (畜産試験場 tel. 0739-55-2430)</p>	<p>エコフィード中の粗タンパク質量とリジン(アミノ酸の一種)含量を調整することで筋肉内脂肪含量を高める「霜降り豚肉」生産技術を、様々な原料のエコフィードを使用している県内3つの養豚場で実証したところ、いずれにおいても筋肉内脂肪含量が高まり「霜降り豚肉」が生産できた。</p>
12		<p>紀州材構造用床パネルの開発 (林業試験場 tel. 0739-47-2468)</p>	<p>大径化した原木から製材できる厚板を有効利用するため、スギ厚板を用いた構造用床パネルを開発した。また、開発した構造用床パネルが、構造用合板を上回る優れた強度性能を有することを明らかにした。</p>
13		<p>ウバメガシ萌芽のシカ採食防止の技術開発 (林業試験場 tel. 0739-47-2468)</p>	<p>紀州備長炭原木となるウバメガシを択伐施業で伐採することで、シカにより萌芽枝を食害されても株の枯死を防止できることを明らかにした。また、萌芽枝へのシカ食害を防ぐため、高さ1m程度の資材で伐採株を囲うことで食害を回避できる防護技術を確立した。</p>
14		<p>スマの種苗生産および中間育成に関する低コスト技術化技術の開発 (水産試験場 tel. 0735-62-0940)</p>	<p>スマ種苗生産における中間育成の省力化のため 生餌を使用せず配合飼料を用いる飼育法を確立した。また、水温管理や大小個体の選抜により、共食いが抑制され、育成コストの低減につながることを明らかにした。</p>

●「研究成果集」の入手方法

研究推進室のホームページ、または研究推進室に連絡して下さい。

お問い合わせ先

農林水産部 研究推進室 竹内・西森 TEL: 074-441-2995 FAX: 073-433-3024

HPアドレス: [https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070100/070109/kanko/3\\_3\\_seika.html](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070100/070109/kanko/3_3_seika.html)